

# 東北商工時報

行發日廿日十日一回三月每  
治代喜木高 行發兼輯編印  
三廿町川新町平縣島福  
社報時工商北東 所行發

料告廣  
部一 錢十金部一  
州月ヶ一 錢十金部一  
圓一 共郵年ヶ一

和★昭  
所版活  
町南町平縣島福

## 東部電力と

### 入山炭礦の 新契約成立

年に五十四萬圓と云ふ巨額に東部電力株式會社額な電力料を支拂つてゐると契約を交す事に決定、兩入山炭礦では供給會社たる者の調印が纏まつたので東日立電力會社との買電契約部電力會社では入山炭礦所が昭和八年十二月限りで在地の湯本町に變電所を設けるため十二月の契約更改期に變更することに決定せりことに際しては日立と手を切つ

## 農銀臨時總會

### 増員重役選舉

農工銀行の重役増員選舉選期は來る五月五日に執行に關し銀行當局並に政民兩派の政友派から根本祐派の妥協が成立し、年來の太郎氏、民政は太田三郎氏紛争も解決したので銀行當局が推されるが市長には根本局に於ては重役増員選舉の祐太郎氏が最も有力視され臨時株主總會を三月中旬頃

### 棚倉町議改選

五月廿五日執行  
棚倉町會議員改選は來る五月廿五日に行はれるが現議員の定數十二名が十八名に増加されるので稀に見る激戦を豫想されてゐる、目下話題に上つつある顔郡山市に於ける市長改

### 郡山市の

### 市長選舉

郡山市に於ける市長改

## 都々逸

### 古川浩民

雨はしとしと小窓を叩く  
更けて淋しい鐘の音  
親に孝行君には忠義  
それで誠と人の道  
絹や錦紗と虚榮はをよし  
あらば貯金をするがよい  
いやな男にお金があるが  
好いた男に金がない  
運が悪くはばすは馬鹿よ  
運は我が手で出来るもの  
酒の威勢で無理を通じ  
さめりや後悔胸を打ち  
新聞見るなら三面見やれ  
義理や人情がよくわかる  
よせばよいと深山の清水  
あたら浮世に出てにぐる  
使やなくなる稼げば蓄る  
金にや少しもとがでない

## 石城各炭礦の 株式値上り

石城の石炭株は茲許買氣を一手に納た形で入山礦が五圓五十錢、高警城礦で一圓四十錢高の値上り一般商品は反落にも不拘らず石炭のみは品不足を生じ不需要を前にしながら相場は相變らず強調を續け春暖期に入りても軍需工場や各工業會社及海運界の好況で需要減退を憂ふるに及ばずとして買進んでゐると

### 郡山專賣局で 新煙草パロマ

三月から發賣  
郡山地方專賣局では來る三月一日から新煙草「パロマ」を五本包定價三十錢といふあくまで大衆向の煙草を發賣する由

## 祝東白川支局開設

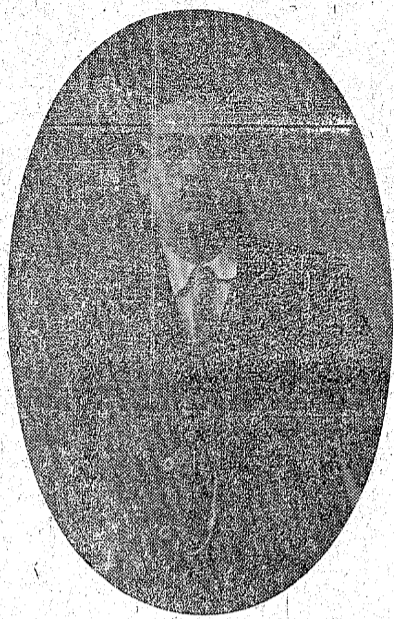
棚倉町長 宗田 利助	近澤村長 戸部 平藏	高野村長 鈴木 宗司	鈴木 宗治	石井村長 鈴木 宗治	松本才一郎	高信 正明	高信 定之助	笹原村長 鈴木 喜廣	園部 健作	鈴木 喜兵工	常豊村長 藤田 賢次郎	荒川 武雄	高城村長 佐藤 庄太郎	松本 千代吉	竹貫村長 大樂 彦次郎	赤坂 運作
---------------	---------------	---------------	-------	---------------	-------	-------	--------	---------------	-------	--------	----------------	-------	----------------	--------	----------------	-------

縣會議員 鈴木 英亮	縣會議員 三田 暉次	縣會議員 藤井 卯之助	縣會議員 菊池 友美	株式會社 白河實業銀行	編輯 古川 浩民	瑞驛長 塚本 彦衛門	近津驛長 大和田 泰治	石井驛長 市毛 祐宗	東館驛長 大沼 忠藏	豐里村消防組頭 金澤 壽	料理旅館 花 屋	料理旅館 竹之家	料理旅館 龜文館	料理旅館 那須屋旅館	鐵道省指定旅館 那須屋旅館	郡司 末男 豐里村東館	料理旅館 入船家
---------------	---------------	----------------	---------------	----------------	-------------	---------------	----------------	---------------	---------------	-----------------	-------------	-------------	-------------	---------------	------------------	----------------	-------------

# 信望と期待を

## 双肩に荷ふ

### 芳賀沼源太郎氏



我が國の摺界を風摩し産米倍と親しみを感ずる 氏にの調製改良に一新機軸を出は上手と云ふ處なく 常に販賣は遠く朝鮮、臺灣、社會奉仕の精神を以つて一支那に及ぶ瑞光式摺機販賣農村的向上を計り成らず實を東北六縣一手に引受けんば止まざる決心を抱いて居る石城郡平町七丁目正業界に立つところ人格の總金商會主芳賀沼源太郎氏はてが窺はれる

昭和三年郷里會津郡の人に世は今や非常時に直面してにして不況のうちに悪戦苦闘内外共に多事の時 伸び闘の苦き體驗を味ひつゝ奮行農村的向上と發展は實闘努力 如何なる難關に遭に芳賀沼氏の双肩に待つと過するも それを見事突破ころ多く一命をとして盡力して今日の如き農村開拓のさるゝ氏の將來こそ洋々たる先驅者と仰がれ絶大なる信るものがある

用を得るに至つた篤實家で 又氏は大正の初年軍籍に身ある 氏は一見愛嬌にとほを遠く滿洲の原野に馳驅ししく無口の人である 然して我が國の生合線たる權權二度三度と交るうちには何益擁護の任務を遂行されたんとも言へぬ情味が湧き一國家の干城である。

## 双葉駒検査

双葉産馬蓄産組合では左記町村五日富岡六日新山町七日割の駒検査を旅行する

三月一日上岡村。二日瀧田村三日木戸村廣野村四日熊野村五日富岡六日新山町七日大野村

## 硫安下落

### 輸出旺盛

硫安は農村の實需が續かないため一時の高値から漸次低落して最近の市場値は一噸九十五圓見當の安値を呈してゐるのでこれが對策として肥料會社では硫安の輸出を圖り既に昭和肥料日本窒素等で南洋北米方面へ五に高り地位名譽財を子孫百茲に家庭及庭園或は公開の六千噸の輸出を行つたが硫世に遺す 祖先の偉業を後揚場に設立する銅像の標準安の輸出値は神疲噸九十世に傳へ而して之が高風をと價格は御希望に應ずべく七圓乃至百二、三圓見當で景慕し其の風貌を憧憬する御高配の程を希ふ

爲替安のたの輸出は極めては即ち人情至然の發露に有利であるから内地安となつて實に人世無二の美德である 硫安の輸出は引續き旺ると欲せば之を寫真に肖像影像に待たざるべからず然れども寫真肖像は其の一面東白川郡赤坂郵便局の描寫にして 完全なる風長大池太彌氏は今回依願退職を記念せんに形像を描職し令息康義氏が後任として他に求め得ざるべく 形て任命されたるため局内從像にまが彫、木彫、銅像業員一同をつむら屋旅館にの別あれども彫、木彫、銅像業員一同をつむら屋旅館に招待して祝賀會を催した大損の憂ひありて永遠の保存に堪へず勢ひ永久的の銅像池氏は勤續四十一年に涉りを探るを賢明なる策と思ふ管内の模範

## 銅像及び家庭

### 銅像に就いて

#### 工藤源吉氏談

朝に星を戴き夕に月を踏み苦心慘愴能く經營創業の衝

## 大に國民一團となり

### 初一念に向つて邁進す

#### 松岡洋右代表談

ジュネーブに於て列國代表を前に歴史的大演説を爲し會議中途で退場しホテルに引揚げた我が松岡代表はジュネーブ引揚げに際し『國民に與ふ』と題して左の如く語つた

全國民の後援の下に政府と出先代表一致で過去三月月努力した甲斐なく茲に至つたのは折衝の局に當つた自分の不徳の致す所と慚愧に堪へぬ併し茲に至つた所以を深く思へば國民も亦自ら顧る所なきを得ないであらう久しい間の目標ない方針ない各國間の歩み寄り列國をして我が國策を明白に理解せしめ得ず正しき主張に對しても疑惑を蒙り不當の扱ひを受けるが如き事態に立至りし最大原因を成せるものと見られるとき、國民は此實際に直面し之を轉機として斯かる點を反駁すべき一大飛躍を試むべく心掛けたい、先づ第一に滿洲國を理想的獨立國たらしめ

十分援助を與へつゝ我が日本精神を發揚し血みどろとなつて戦ひ日滿共榮の輝かしき日の來ることを期待し邁進したい此上を見え出し得ることが至難であるとは思はぬ明治大帝の御製にもある如く誠はおそくとも遂には總てを貫くものである大和民族を打つて一体火柱となし初念に向つて邁進することを國民諸君と共に固く誓つて置きたい

## 披露宴

### 赤坂郵便局長

赤坂郵便局長 披露宴

## 祝東白川支局開設

### 小川屋吳服店

常豊村 塙

### 渡邊松太郎商店

棚倉町 電四八番

### 柳井祐

### 江口伊六

常豊村 塙

### 入忠商店

佐藤 忠一

棚倉町新町

### 吉田屋旅館

電話四番

### もち屋旅館

石田 キン

電話五三番

### 川俣屋

常豊村 塙

### 上田豊次郎

棚倉町古町

### 柳屋吳服店

棚倉町新町 電三五番

### 藤田一郎

常豊村 塙



濱通り木材界の

覇者 石川淺次郎氏

世に幸運兒を擧ぐれば氏は双葉郡木戸村木戸驛前にも亦其第一人物として...

小名濱の町議改選に

齊しく新人を待望

小名濱町會議員十八名の機關の圓滑發展に努する議改選は来る六月十五日に行員を囑目し町政の改善を叫...

藤、社大、齋藤定次郎 新 小野晋中、立花雄七、小松重兵衛、中野鐵之助...

東京市電氣局 飯坂温泉へ

乗客六百名招待

東京市電氣局では本年度車で飯坂温泉に向ひ二十六日に市民へのサービスとし日歸京の豫定である...

木炭下落

東白河地方の特産物である木炭は二月に入つて約三割の暴落を示した目下同地の山相場丸角表五貫五匁八...

八面觀

敢然として信念を披歴す 外相と陸相國民の信念で進むこの秋ぞ 爆彈三勇士の一週年心から冥福を祈る...

地方筋地場強氣筋の買進み 四月二十錢と七錢高に寄付 十錢雜十五錢その他十錢位...

東白川青年團 講習會東白川郡聯合青年團は三月十日から四日間棚倉小學校で團員講習會を開催...

會電の

常務留任 會津電力株式會社常務取締役高瀬八郎氏は當時會電と新瀉電氣の合併問題の畫策に憤慨して辭表を提出し...

商況

伸兼ねて引期末 買氣強し 選購する時には何々問題を條件で大法螺を吹いて立派な宣言迄して乗出して見ると一向實行しないのみか町の唯一の條件であつた問題はお流の其儘なのに曩に同人を推薦した其跳懸者は見兼ねて忠告すとこの議員の言いが草が頗る振つてゐる。イヤ其事なら我同志は勿論反對黨の諸君も大に賛成してあるから大丈夫だ。ナァーにそれを提案する時には二晩共某妻を抱いて寝て居たので忘れちゃつた恥ぢる處なく公言したには流石の友人も愛想...

文藝募集

湯野飯坂温泉旅館案内 花水 角洲 泉閣 小瀧 赤川 若丸 稲田 立花 湯野本館 橋本 信夫 泉屋 東屋 新松 前野 藝妓 藤春日 春藤 升春 日の本 家の花...

祝 湯飯野坂支局開設

伊達郡湯野村 蠶業普及會本部 伊達郡湯野村

安田 德治 高橋 加賀次郎 伊達郡湯野村

湯野消防組頭 篠木 滋 飯坂小學校 二階堂英一

湯野高等小學校職員一同

飯坂出張所

伊達工場

菱沼寅吉

飯坂温泉旅館案内

# 祝發展

## 郡山倉庫株式會社

郡山市

郡山市

## 合名 根本商店

電話五番七番

郡山市壇越町

## 合資 郡山商行

木形政宣

耶麻郡熱鹽村

## 山口峻一

## 大原病院

院長 大原 一  
 副院長 大原 八郎  
 醫學博士 岩永 幾太郎  
 醫學博士 鈴木 主計  
 醫學博士 福福市大町

福島驛構内

## 私設待合

電話五三九番

辨當部

洋食部

## 木村電氣商會

平新川町二四  
電話一七九番

## 元湯旅館

鈴木俊英

## 會津熱鹽溫泉

笹屋本館  
 笹屋別館  
 升屋旅館  
 山屋旅館  
 吉田屋旅館  
 海老屋旅館

石川郡母畑村

## 母畑溫泉

## 元湯旅館

## 湯源亭

東白川郡竹貫村  
湯ノ口溫泉

## 双葉館

## 會津沼尻、中ノ澤溫泉

朝日屋旅館  
 扇屋旅館  
 白城屋旅館  
 花見屋旅館

沼尻溫泉

## 田村屋旅館

## 磐城屋旅館

橫向溫泉

## 瀧川屋旅館

阿部勇

## 會津沼尻中ノ澤溫泉

## 西村屋

### 胃腹病の名湯

## 梅屋旅館

双葉郡木戸村

## 仲屋旅館

双葉郡富岡町

## 鑛泉旅館

# 廣太屋

小野新町谷津作

## 湯本町長 石川德壽

小田炭礦萩原鑛業部

## 萩原申八

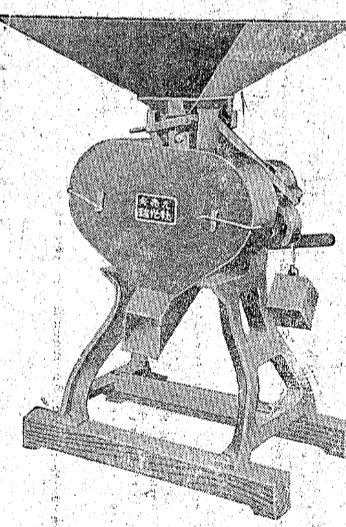
## 良品廉賣に勝る商略なし

## 磐城セメント

## 金物問屋 釜屋商店

磐城平町五丁目  
電話九番九九番  
東京振替貯金口座一〇六五九

### 瑞光式粉摺機



販賣店 福島縣平町七丁目四二一  
**正金商會**  
 芳賀 沼源太郎  
 電話三六〇番

私設電話認可工事並保守  
電氣瓦斯器具販賣

## 佐藤電氣商會

郡山市大町  
電話三六〇番

郡山市

## 丸伊吳服店

社長 今泉得三

平土木監所長

## 小林清吉

土木建築請負業

## 渡邊長作

石城郡湯本町

## 新町軌車株式會社

## 片曾根製糸所

田村郡片曾根村

郡山無盡株式會社

## 福島出張所

郡山商業銀行

## 本宮支店

須賀川町

## 母畑水電株式會社

郡山市本町

## 石河イリマメヤ

店主 石河 俊  
石河イリマメヤ

## 平支店

平町四丁目

木炭商

## 渡邊操商店

双葉郡木戸村

## 大原勇

双葉郡富岡町

錦屋 號  
度量衡 萬金物

## 佐藤清四郎商店

相馬郡原町 電話五七番